東証 プライム市場：証券ｺｰﾄﾞ［4674］

CRESCO

2027年3月期　2Q　連結

アナリスト向け決算説明会

2026年11月6日

1 決算のポイント

© 2026 CRESCO LTD.

1.1. 第2四半期までの主な取組み

- 組織および体制関連
  - 4月1日付組織再編
    - 営業担当と事業担当の連携をこれまで以上に強化し、提供するサービスの価値を最大限に生かした提案営業を推進するため、「マーケットディベロップメント本部」**を改組。**
  - 4月1日付で、製造セグメントへの対応領域拡大、および名古屋地区における当社企業グループの対応力強化を目的に、**(株)オフィスメーションを子会社化。**
  - 10月1日付で、当社の連結子会社である**(株)メクゼス**が、Web制作・デザイン力とシステム開発力を有する**(株)アストラザスタジオを子会社化**。

© 2026 CRESCO LTD.

1.1. 第2四半期までの主な取組み

- 事業関連
  - 4月7日 当社の**「生成AI環境構築サービス」**が、**AWS ファンデーショナルテクニカルレビュー（FTR）**の認定を取得。
  - 7月9日 **Anthropic社とリセラー契約を締結**、Amazon Bedrockで**「Claude」の提供を開始。**
  - 7月16日 SDV分野のさらなる発展へ向け、**名古屋大学への寄付を実施。**
  - 7月21日 **AI駆動開発の体制・プロセス**を**全社標準の仕組みとして展開開始。**
  - 8月1日 脅威の検知から通知・初動対応までを一気通貫で支援する**「CRESCO Managed Security Services」の提供を開始。**
  - 8月3日 **三菱UFJ eスマート証券株式会社**とパートナーシップ覚書締結。
  - 8月4日 ソフトウェア品質向上ソリューション**「Trust Code Hub」**に多視点AIレビュー機能**「OmniReview」**を追加。

© 2026 CRESCO LTD.

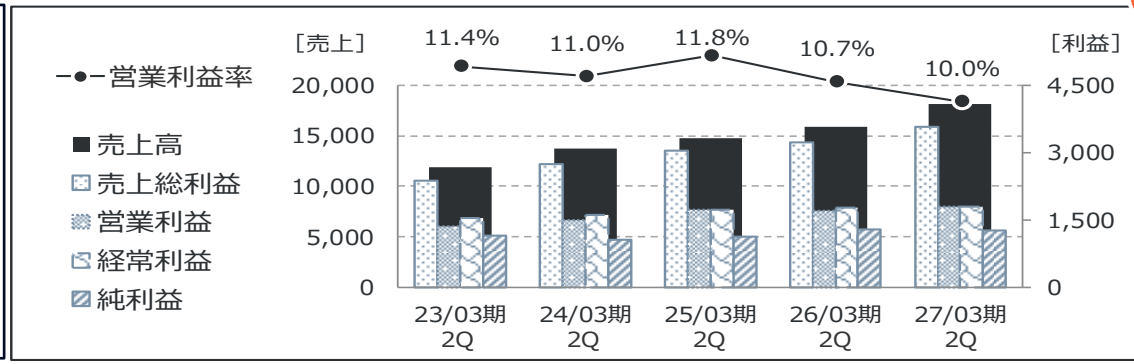
1.2. 売上高・利益

【注】 （ ）内の数字は各々の利益率を表します。
【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

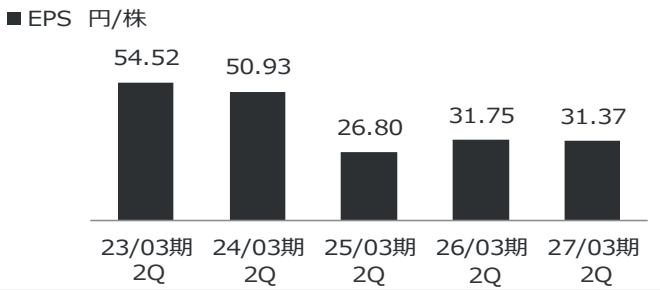
- ITサービス事業の旺盛な需要に加え、生成AIを活用した情報システム投資案件の引き合い増加、また新規連結効果もあり、売上高は前年同期比12.4%の増収。
- 金融領域を中心とした売上増加に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも増益。

［単位：百万円未満切捨］

		25/03期		26/03期		27/03期		前年同期比	対２Q累計達成率	2Q累計 業績予想 26/5/8 予想		前年同期比
2Q累計	売上高	28,506		30,952		**34,802**		**112.4%**	**101.3%**	34,360		111.0%
	売上総利益	5,544	(19.5%)	5,981	(19.3%)	**6,688**	**(19.2%)**	**111.8%**				
	営業利益	2,608	(9.2%)	2,720	(8.8%)	**2,955**	**(8.5%)**	**108.6%**	**101.2%**	2,920	(8.5%)	107.3%
	経常利益	2,763	(9.7%)	2,867	(9.3%)	**3,048**	**(8.8%)**	**106.3%**	**101.9%**	2,990	(8.7%)	104.3%
	純利益	1,879	(6.6%)	2,054	(6.6%)	**2,121**	**(6.1%)**	**103.3%**	**101.7%**	2,085	(6.1%)	101.5%
	EPS 円/株	45.60		50.18		**52.96**				51.94		



注 2024年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

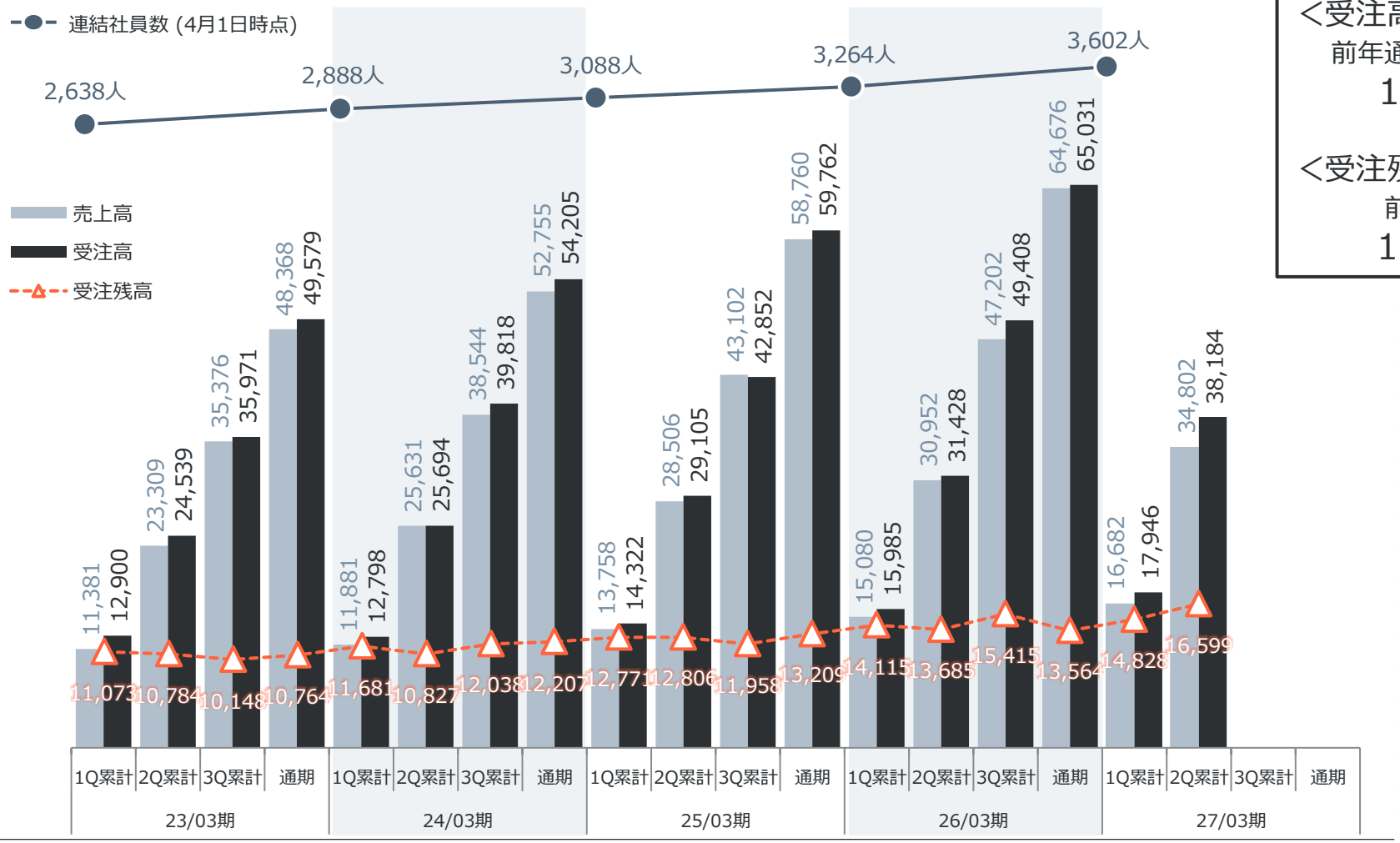


© 2026 CRESCO LTD.

1.3. 受注高・受注残高

［単位：百万円未満切捨］

■ 受注高、受注残高ともに前年同期比20%超と大幅増加。企業のDX推進ニーズは旺盛。



＜受注高＞
前年通期累計比
121.5 %

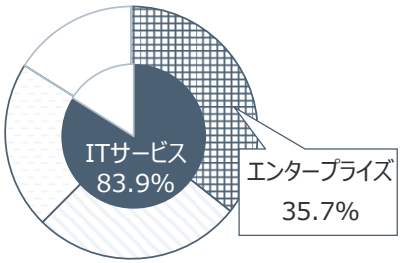
＜受注残高＞
前年同期比
121.3 %

© 2026 CRESCO LTD.

1.4. セグメント別売上高・利益［ITサービス事業：エンタープライズ］

セグメント		サブセグメント	
ITサービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	エンタープライズ	情報・通信・広告、流通サービス、運輸、 人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、 建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

<セグメント別の売上高比率:2Q(7～9月)>



2Q累計

■ **売上高：126億29百万円（前年同期比 12.0% ⇧）**

- 「旅行・ホテル」「情報・通信・広告」「その他」分野の受注が、連結子会社において「流通・サービス」「資源・エネルギー」「公共」など多くの分野で受注が増加したため。

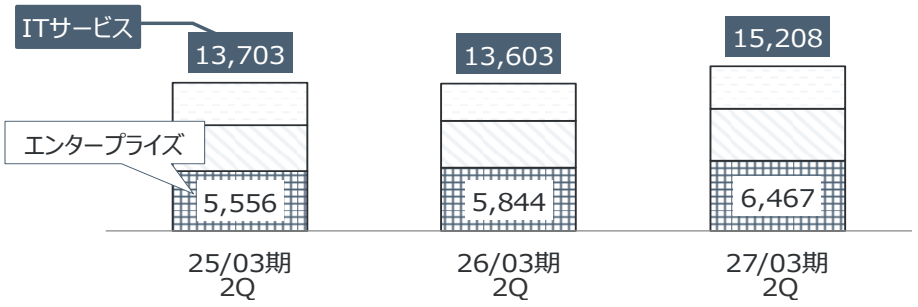
■ **セグメント利益／利益率：15億23百万円／ 12.1%（前年同期比 19.1% ⇧）**

- 売上高の増加と同様の理由。

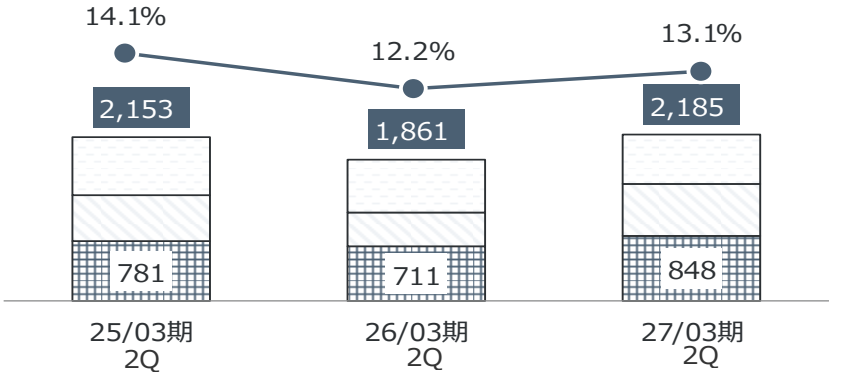
［単位：百万円未満切捨］

2Q(7～9月)

売上高



セグメント利益・利益率

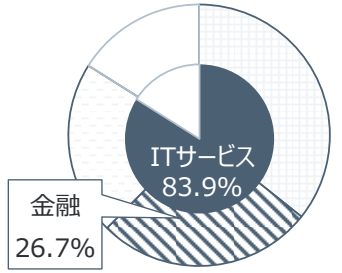


© 2026 CRESCO LTD.

1.5. セグメント別売上高・利益［ITサービス事業：金融］

セグメント		サブセグメント	
ITサービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	金融	銀行、保険、その他

<セグメント別の売上高比率:2Q(7～9月)>



2Q累計

■ **売上高：93億12百万円（前年同期比 9.9% ⇧）**

- 金利上昇による金融機関の堅調な業績を背景とし、当社及び連結子会社において「銀行」「保険」「その他」のすべての分野で案件の受注が拡大したため。

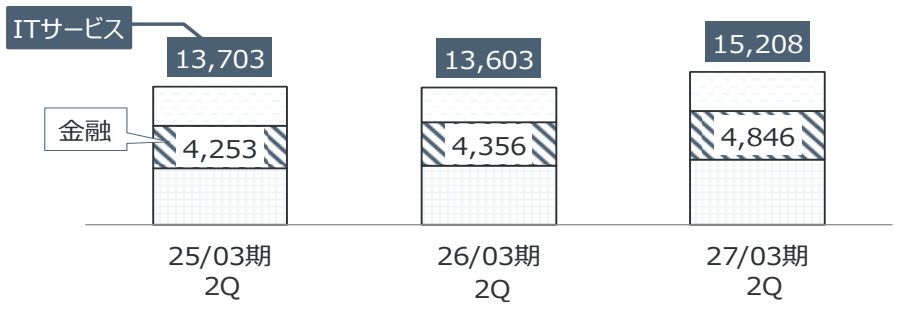
■ **セグメント利益／利益率：12億34百万円／ 13.3%（前年同期比 45.3% ⇧）**

- 売上高の増加に加えて、前年同期に「その他」分野において一部の連結子会社で不採算案件が発生していたため。

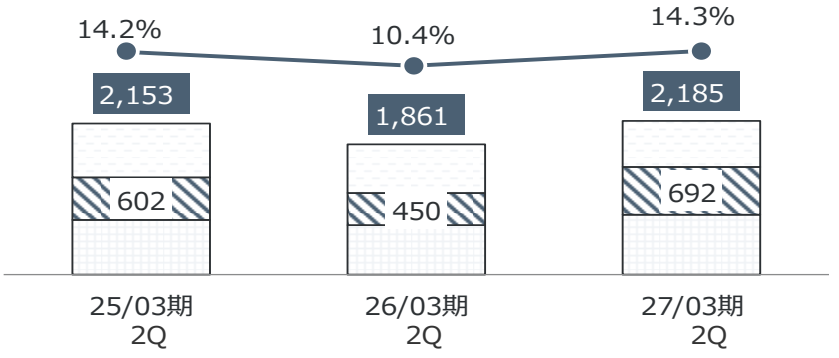
［単位：百万円未満切捨］

2Q(7～9月)

売上高



セグメント利益・利益率

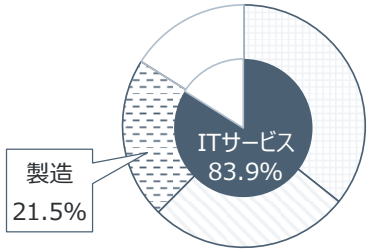


© 2026 CRESCO LTD.

1.6. セグメント別売上高・利益［ITサービス事業：製造］

セグメント		サブセグメント	
ITサービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	製造	自動車、輸送機器、機械・エレクトロニクス、その他

<セグメント別の売上高比率:2Q(7～9月)>



2Q累計

■ **売上高：75億68百万円（前年同期比 11.6% ⇧）**

- 「自動車・輸送機器」分野において当社の受注が伸びたことに加えて、「機械・エレクトロニクス」分野、「その他」分野において(株)オフィスメーション、(株)エイプスを新規連結した効果によるもの。

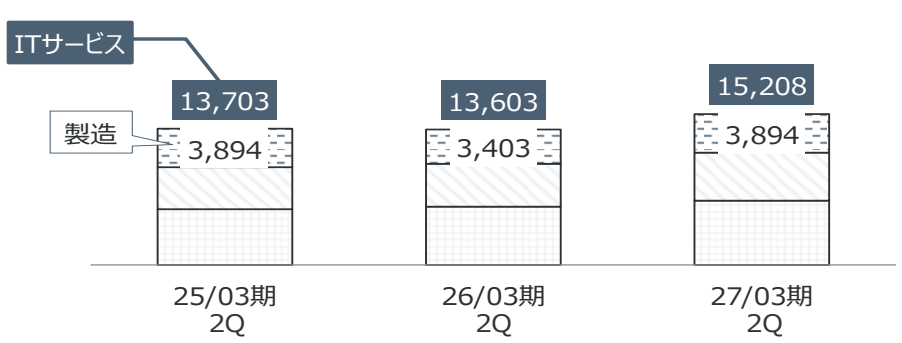
■ **セグメント利益／利益率：11億15百万円／14.7%（前年同期比 3.5% ⇩）**

- 売上高の増加があったものの、一部の連結子会社において前年同期の大型案件の利益が剥落したことによるもの。

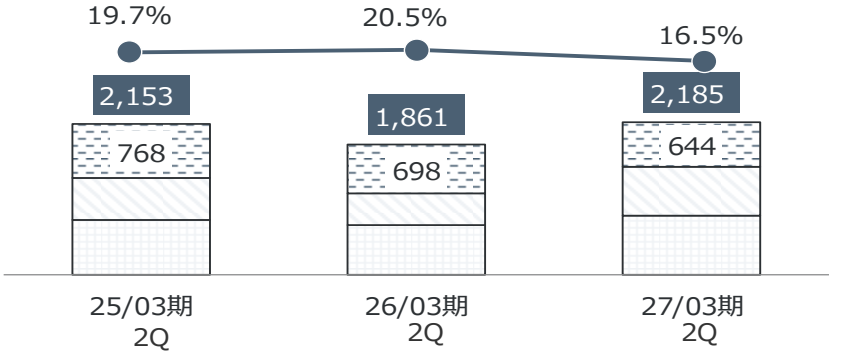
［単位：百万円未満切捨］

2Q(7～9月)

売上高



セグメント利益・利益率

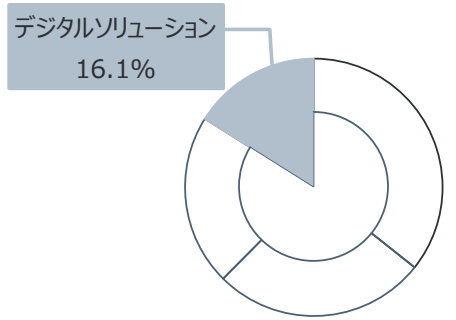


© 2026 CRESCO LTD.

1.7. セグメント別売上高・利益［デジタルソリューション事業］

セグメント	事業
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 <主な製品・サービス名> クラウド関連サービス（Creage等）、Robotics関連サービス（UiPath等） ERP導入関連サービス、開発品質向上サービス（TrustCodeHub等）

<セグメント別の売上高比率:2Q(7～9月)>



2Q累計

■ **売上高： 52億93百万円（前年同期比 19.8% ⇧）**

- 当社においてCreageサービスやRobotics関連製品の販売が増加したことに加えて、(株)アイエステクノポートを新規連結した効果によるもの。

■ **セグメント利益／利益率： 4億32百万円／ 8.2%（前年同期比 13.8% ⇩）**

- 売上高の増加があったものの、一部の連結子会社において前期より不採算案件が発生していることと、DX製品の一部で収益性が相対的に低い売上が増加したことによるものです。

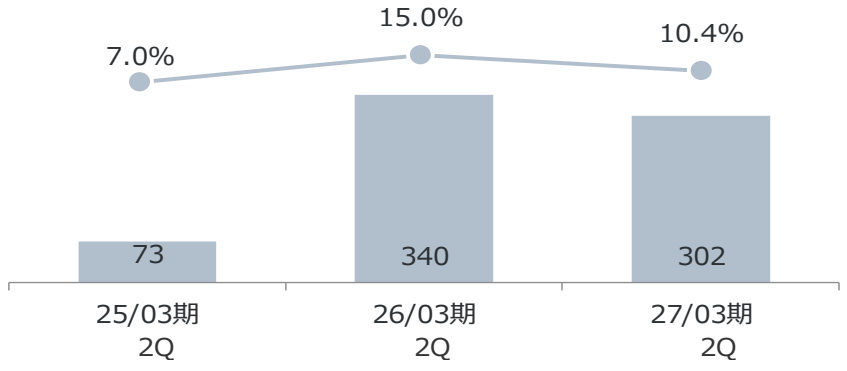
［単位：百万円未満切捨］

2Q(7～9月)

売上高



セグメント利益・利益率



© 2026 CRESCO LTD.

2 2027年3月期の見通し

© 2026 CRESCO LTD.

2.1. 業績予想

- 2025年5月9日公表の2026年3月期連結業績予想（2Q累計及び通期）に**変更なし**。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示。

［単位：百万円未満切捨］

		26/03期					27/03期		
		25/5/9 予想	前年同期比	実績	前年同期比	達成率	26/5/8 予想	前年同期比	2Q時点進捗率
通期	売上高	64,000	108.9%	64,676	110.1%	101.1%	**71,500**	**110.5%**	**48.7%**
	売上総利益			13,110 (20.3%)	111.3%				
	営業利益	7,000 (10.9%)	117.0%	6,605 (10.2%)	110.4%	94.4%	**8,000 (11.2%)**	**121.1%**	**36.9%**
	経常利益	7,140 (11.2%)	113.5%	6,980 (10.8%)	111.0%	97.8%	**8,200 (11.5%)**	**117.5%**	**37.2%**
	純利益	4,900 (7.7%)	111.2%	5,279 (8.2%)	119.8%	107.7%	**5,530 (7.7%)**	**104.8%**	**38.4%**
	EPS 円/株	121.29		129.82			**140.12**		

【注】 （ ）内の数字は各々の利益率を表します。 「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。

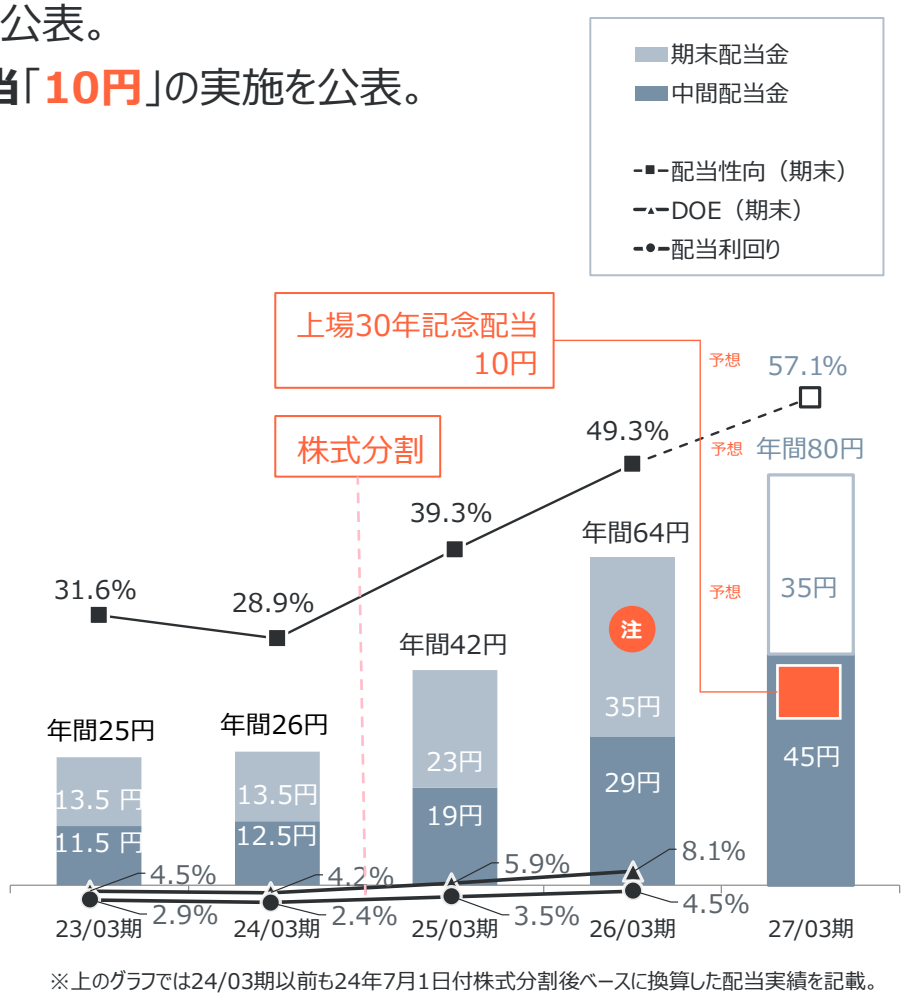
© 2026 CRESCO LTD.

2.2. 配当予想

- 株主還元方針に則った配当を継続。
- 2026年5月8日に、2027年3月期の配当目標を「**70円**」と公表。
- 2026年7月31日に、中間配当において**上場30年記念配当**「**10円**」の実施を公表。

	25/03期	26/03期	27/03期		
	実績	実績	実績	26/7/31 予想	増減
中間	19円	29円	45円	–	**16円**
期末	23円	35円	–	**35円**	**0円**
年間	42円	64円	45円	**80円**	**16円**
配当性向	39.3%	49.3%	–	**57.1%**	**7.8%**
配当利回り	3.5%	4.5%	–		
DOE	5.9%	8.1%	–		
配当金の総額	1,731百万円	2,588百万円	–		

[配当金の総額：百万円未満切捨]



※上のグラフでは24/03期以前も24年7月1日付株式分割後ベースに換算した配当実績を記載。

株主還元方針

- 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- 特段の株主優待は行っておりません。
- 配当に関しましては、原則、親会社株主に帰属する当期純利益の**50%**を目途に継続的に実現することを目指してまいります。

注 2026年5月8日に公表した以下の株主還元策を実施中です。

・2026年5月11日から2026年10月5日まで、合計1,000,000株（17.6億円）の自社株買いを実施しました。
・2026年11月5日に、消却する自己株式数の引き上げ（2026年5月8日決議の100万株から200万株に）を決議いたしました。

© 2026 CRESCO LTD.

ご参考

© 2026 CRESCO LTD.

ご参考 1）連結子会社の変遷

	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコワイヤレス【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
アイオス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シースリー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ・デジタルテクノロジーズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
メクゼス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エヌシステム	●																			
ネクサス	●																			
アルス	●																			
クレスコ・ジェイキューブ【※1】		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコベトナム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エニシアス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ・ネクシオ【※2】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
日本ソフトウェアデザイン【※5】				●	●	●	●	●	●											
ジェット・テクノロジーズ【※3】									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
オフィスメーション【※6】																	●	●		
子会社総数	13	11	11	12	12	12	12	12	13	11	11	11	11	11	11	11	12	12		

【※1】 2022年7月1日付けで連結子会社3社(アルス、エヌシステム、ネクサス)を合併し、「(株)クレスコ・ジェイキューブ」として再編
【※2】 2023年10月1日付けで「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更
【※3】 2024年4月1日付けで「ジェット・テクノロジーズ(株)」を子会社化
【※4】 2024年6月14日付けで「クレスコワイヤレス」の株式譲渡
【※5】 2024年7月1日付けで「メクゼス」が「日本ソフトウェアデザイン」を統合
【※6】 2026年4月1日付けで「(株)オフィスメーション」を子会社化

© 2026 CRESCO LTD.

ご参考

2) 中期経営計画2026_7つの戦略_取り組み状況

成長戦略	2026年度の取り組み	実績
共創型モデルの確立	・アカウント別戦略推進 ・顧客の企業価値を向上させる提案力強化	・アカウント別戦略の実行を通じ、**顧客との関係深化を推進し、戦略パートナーを拡大** ・顧客のニーズ把握、提案率の向上と共に、上位層との対話へシフト
品質リーダーシップ発揮	・継続した全社品質活動による不採算PJ撲滅 ・実効的なリスク管理の推進と定着	・全社品質活動と重点プロジェクト管理を継続し、**不採算プロジェクトを抑制** ・リスクの早期把握・対応に向けた**管理体制を強化**
人的資本経営推進	・プロセスを見直し更なる採用強化 ・エンゲージメント向上に向けた各種施策の強化	・採用強化とエンゲージメント向上に向けた各種施策を推進 ・**サクセッションプランの強化**など、次世代人財の育成を推進
技術・デジタルソリューション(DS)の拡張	・DSビジネスのさらなる拡張と収益力強化 ・顧客へのソリューション提案推進	・役務提供のサービス化や、ノウハウのアセット化等による**DSビジネスの収益力強化**を推進 ・AI・データ領域をはじめとする**重点技術領域のサービス拡充**を推進
事業連携促進	・ビジネスパートナー(BP)との関係性強化 ・アライアンスパートナーとの提案・連携実績創出	・**ビジネスパートナーとの関係強化を推進** ・AI関連企業を中心に、**新たな企業との協業を促進**
デジタル変革実現	・データ分析基盤の構築・活用 ・生成AI活用による開発・業務改革の推進	・データ分析基盤の構築・活用を推進 ・生成AIを活用した**AI駆動開発の全社展開を開始**
グループ一体経営	・Gr戦略アカウント・営業連携推進 ・コーポレート機能集約化の推進	・グループ各社との共同提案・案件連携を推進 ・**共通業務の運用・基幹システム展開準備など、Gr経営基盤の整備を推進**

© 2026 CRESCO LTD.

ご参考 3） 生成AI時代に新たな品質基準で成長するクレスコ

- クレスコは、創業以来鍛えた技術を生成AIで新たな品質基準に進化させ、お客様の戦略実現を加速する共創パートナーへ成長する。
- 技術の進化を常に先取りすることで、先端技術をお客様とクレスコの企業価値に転換し、次世代のSI事業モデルへの進化を推進する。

クレスコ固有の強み

	技術と高品質	顧客業務知見	経営の機動力
クレスコのDNA	ミッションクリティカルでの経験 品質に自ら責任を持つ企業姿勢	エンドユーザーフォーカス	技術と経営を熟知した経営陣 変化への迅速な適応力
エビデンス	プライム比率 85%	リピート率 93%	2012 技研設立 2024 生成AI研設立 2026 グローバル戦略室設立

競合による模倣困難

成長投資

中計3か年 計200億円

- M&A
- 人的資本
- 研究開発・事業開発（AI駆動開発態勢整備）
- ブランディング

資本コストを意識した経営

- 自己株式取得
- 投資有価証券圧縮

健全な経営基盤
攻めのキャッシュアロケーション

AI駆動経営による成長の姿

AI時代の新たな品質基準	顧客戦略を加速する共創パートナー	新技術の迅速な収益化
ブラックボックス化を防ぎ生成AIの活用を加速する技術	お客様の戦略実現を加速する共創の深化	新技術を早期に導入し高付加価値へと挑んでいくAI駆動の経営
システムの理解・評価最重視	AIネイティブの新たな共創モデル	先端技術の獲得・収益化の組織的推進
Trust Code Hub ×OmniReview 提供開始	Anthropicとリセラー契約締結 三菱UFJ eスマート証券とパートナー契約締結	AI駆動開発全社標準化「AI駆動開発アカデミー」を開設

AIによる代替困難

技術を常に先取りするクレスコの取り組み

1988	2000	2010	2020	2023	2024	2025	2026	2030
創業		技研設立	産学連携（医療/モビリティ）	社内生成AI CrePT開発	生成AIビジネス変革研究室設立	TrustCodeHub 提供開始	AI駆動開発 全社展開	CRESCO Group Ambition 2030 売上高1,000億円を目指す

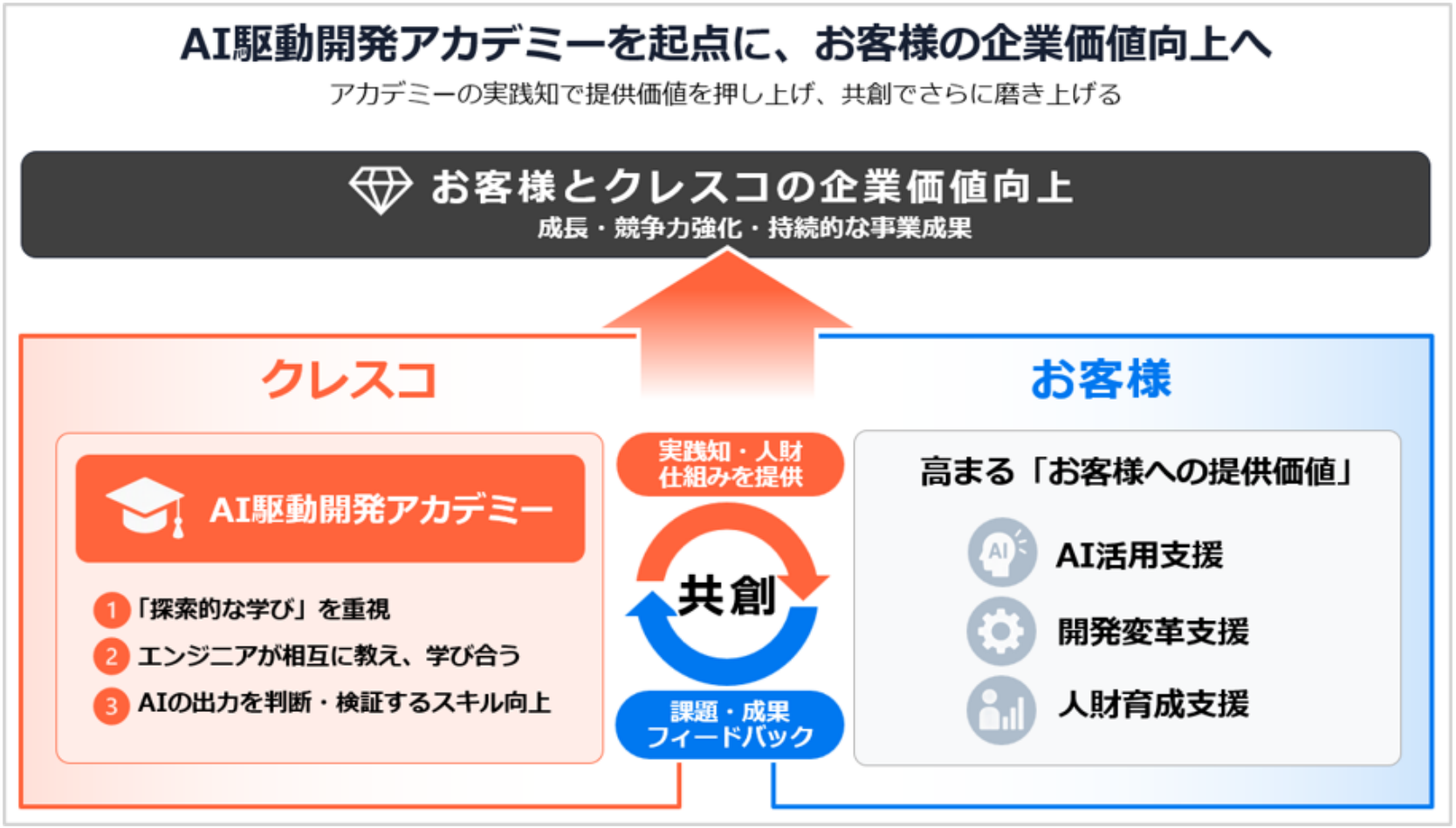
情報技術進化の歩み

1988	2000	2010	2020	2023	2024	2025	2026	2030
メインフレーム	クライアントサーバー	インターネット	クラウド/ビッグデータ モバイル/ソーシャル技術	生成AI 黎明期	RAG 業務活用	AIエージェントの加速度的な進化	AI駆動開発 一般化	生成AIを含むITの加速度的進化

© 2026 CRESCO LTD.

ご参考 4） 生成AI駆動開発アカデミーを開設

- 本アカデミーを通じて、AI駆動開発を担う人財の育成と実践知の体系化を進め、技術変化への対応力と事業化のスピードを高める。
- 本アカデミーの中で得られた課題や成果、フィードバックを当社の開発や人財育成に還元することで、サービスを継続的に改善し、お客様への提供価値を高める。



© 2026 CRESCO LTD.

ご参考 5) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



【注】 コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。 内容に変更はありません。

「経営ビジョン」の詳細
https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html

「中期経営計画2026」の詳細
https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html



© 2026 CRESCO LTD.

免責事項

- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではございません。
  投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。
  予めご了承ください。

© 2026 CRESCO LTD.